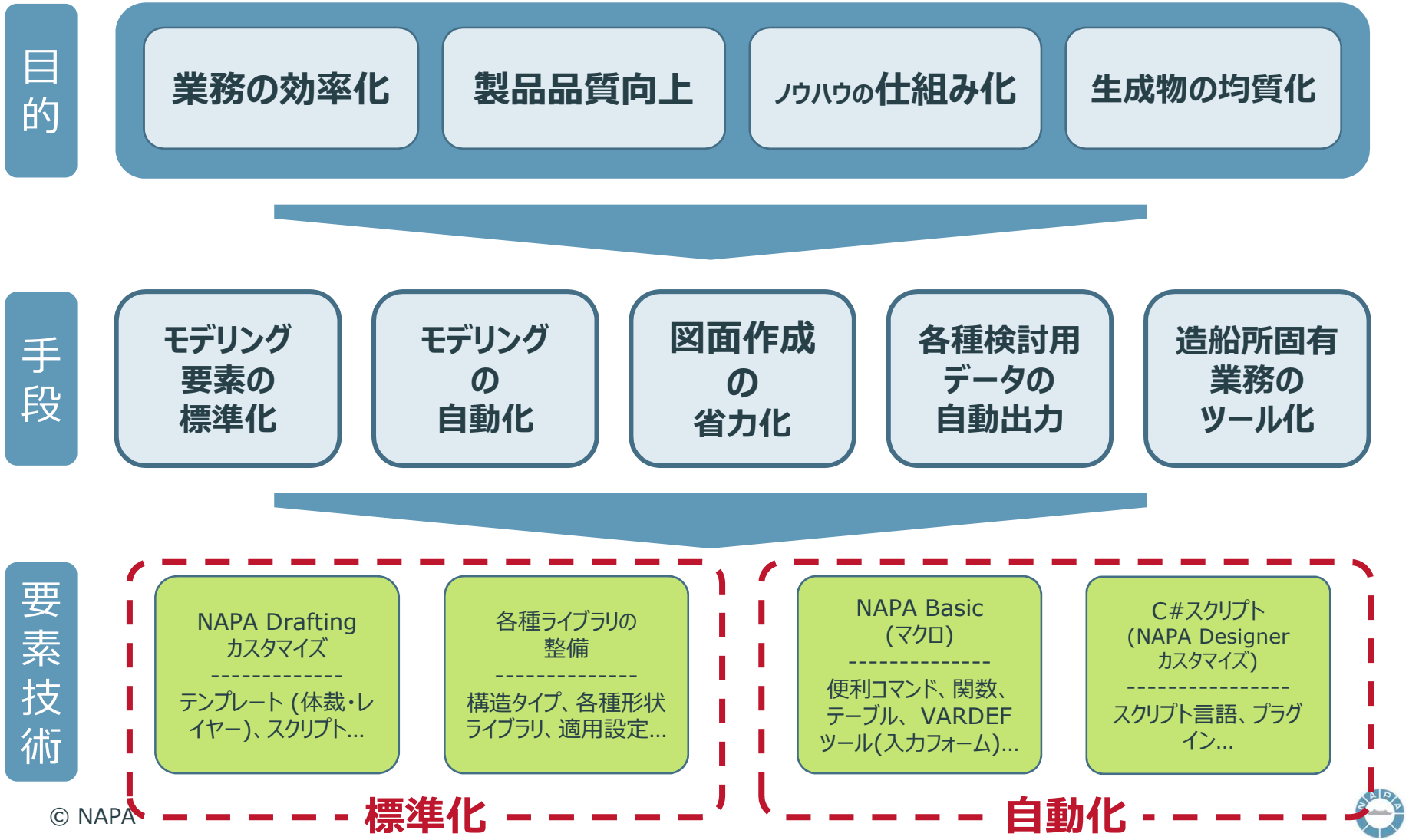
別紙 A

NAPA Steel カスタマイズトレーニング 各コースの詳細

www.napa.fi

2021年2月版

NAPA Steel カスタマイズの位置付け



© NAPA

カスタマイズトレーニング コース一覧

コース	受講により行えるようになること
構造モデリングの標準設定	• 標準設定を整備して、自社仕様に合致した構造モデルを**正確に、かつ効率よく**作成
独自のパラメトリック形状作成とStructure Libraryへの登録 **新規追加**	• **極めて効率的に**構造モデルを作成 • 形状だけでなく、思想まで**正確な**構造部材を作成 • NAPA Designer上で**直接3次元設計**を実施 • 境界の変更に形状が追従する、**変更に強いモデル**を実現
NAPA Draftingのカスタマイズと自動化	• NAPA Draftingのテンプレートを整備して、自社仕様の図面を**正確に、かつ効率よく**作成 • AutoCADスクリプトの利用により、手間のかかる図面作成作業を**自動化**
NAPA Basicによる自動化 (仮題) **準備中**	• NAPA Basicを用いた、各種作業の自動化
C#スクリプトによる自動化 (仮題) **準備中**	• C#スクリプトを用いた、各種作業の自動化

© NAPA

NAPA Steelの標準化

構造モデリングの標準設定

本講座受講により行えるようになること

- 標準設定を整備して、自社仕様に合致した構造モデルを**正確に、かつ効率よく**作成

トレーニングによる習得できる具体的な知識・スキル

- データベースの役割を理解し、使い分けることができる
- 構造関係ライブラリの役割と仕組みを理解し、ニーズに合わせて編集ができる (Structure Libraryを除く)
- 適用設定を用いて、カットアウトやノッチを構造モデル上に配置できる
- 独自のプロファイルを作成し、利用することができる
  (開口、スティフナ、ブラケット、カットアウト、エンドカット、ノッチ)

受講条件

- NAPA Designerによる構造モデリングについて、基礎トレーニング相当の知識を保有していること

講義内容

1. 構造関係ライブラリの構築と運用方法
2. カットアウト、ノッチの適用設定
3. 独自プロファイル作成 (開口、スティフナ、ブラケット、カットアウト、エンドカット、ノッチ)

© NAPA

NAPA Steelの標準化

独自のパラメトリック形状作成とStructure Libraryへの登録

2021年春 新規追加

本講座受講により行えるようになること

- 複雑な形状でも、ライブラリから簡単に挿入して**極めて効率的に**構造モデルを作成
- 形状だけでなく、思想まで**正確な**構造部材を作成 (利用価値の高い詳細レベルの構造モデルを作成)
- 2次元CADに頼ることなく、NAPA Designer上で**直接3次元設計**を実施
- 参照する境界の変更に部材形状が追従する、**変更に強いモデル**を実現

トレーニングによる習得できる具体的な知識・スキル

- Parametric Curve構文を用いた独自のパラメトリック形状の作成方法
- Structure Libraryの編集・登録方法

注) 本講義は、各社のエキスパートユーザーの方だけでなく、エンドユーザーの方にも習得して頂く価値のあるものです。
敷居が高いと言われるParametric Curveですが、基礎から簡単に、体系的に理解できるようにカリキュラムを組んでおります。

受講条件

- NAPA Designerによる構造モデリングについて、基礎トレーニング相当の知識を保有していること

講義内容

1. Parametric Curve構文を用いた独自のパラメトリック形状の作成
2. Structure Libraryの編集・登録

© NAPA

NAPA Steelの標準化

NAPA Draftingのカスタマイズと自動化

本講座受講により行えるようになること

- NAPA Draftingのテンプレートを整備して、自社仕様の図面を**正確に、かつ効率よく**作成
- AutoCADスクリプトの利用により、手間のかかる図面作成作業を**自動化**

習得できる具体的な知識・スキル

- レイヤーとStructureの役割を理解し、どのStructureをどのレイヤーに描くかを自由に設定できる
- 要素を組み合わせて独自のアノテーションを作成し、利用できる
- NAPA Draftingで必要となるAutoCADの設定を理解し、編集できる
- NAPA Draftingの簡単な自動化ができるAutoCAD スクリプトを作成できる

受講条件

- NAPA Draftingを用いた図面作成について、基礎トレーニング相当の知識を保有していること

講義内容

1. レイヤーとStructureの設定
2. アノテーションの設定
3. レイアウトの設定とテンプレートの完成
4. NAPA Draftingで必要となるAutoCADの設定
5. AutoCADのスクリプトを用いた自動化

© NAPA